

「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」実施報告書

<p>1. 実施主体</p> <p>本事業を受託し、協議会の核となる自治体、もしくは経済団体等名</p> <p>徳島県教育委員会</p>	
<p>2. 現状及び課題</p> <p>地域内でのキャリア教育に関する現状</p> <p>本県においては、平成25年3月に「徳島県教育振興計画(第2期)」を策定し、「新たな価値を創りだし、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現」に向けての最重要事項の1つに「キャリア教育の推進」を位置付けている。平成25年3月には学校におけるキャリア教育の現状を把握するために「キャリア教育に関するアンケート調査」を実施し、その結果から、学校におけるキャリア教育の推進に向けた組織体制や教職員のキャリア教育に対する理解が不十分であることがわかった。</p> <p>本県においては、これらの課題を解決するために、平成25年度「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」の委託を受け、「徳島県キャリア教育推進協議会」を立ち上げるとともに、協議会での協議・検討により、平成25年度には学校においてキャリア教育を推進する上で柱となる「徳島県キャリア教育推進指針」を策定し、平成26年度はその周知・推進に努めた。</p> <p>また、平成26年度は、学校が組織的キャリア教育を推進する上で必要となる「キャリア教育全体計画」作成に向けての研修会等を実施するなど、組織的に取り組むための体制づくりの支援にも取り組み、平成27年度においては県内公立すべての学校において作成された。</p> <p>各学校において「キャリア教育全体計画」に基づいた実効性のある取組を推進するとともに、本県の目指すキャリア教育を家庭や地域、企業等に対して啓発することが必要である。</p> <p>地域内でのキャリア教育に関する課題</p> <p>本県におけるキャリア教育の課題として、県内外のアンケート結果等や企業人へのインタビューから次のことが挙げられる。</p> <p>(1)子供たちの働くことへの意欲は高いが、職業に対する理解が不十分である。 (2)高等学校におけるインターンシップの参加者数が少ない。 (3)学校におけるキャリア教育全体計画をより実効性のあるものとする必要がある。 (4)本県における新規高等学校卒業就業者の卒業後3年以内の離職率は約4割である。 (5)「徳島県キャリア教育推進指針」の内容について、家庭・企業等への周知が不十分である。 (6)「職場体験・インターンシップ」等の実施において、学校・企業間において、目標の明確化が十分に図れていない状況である。</p>	
<p>3. 委託内容に対する取組</p> <p>(1)学校におけるキャリア教育に対する支援を目的として、地域の関係者が参画する会議体の設置及び運営</p> <p>「徳島県キャリア教育推進協議会」による運営</p> <p>本会議は、県教育委員会が事務局となり、幼・小・中・高・特別支援学校の各代表及びPTA代表、県内経済団体(7団体)、職業能力開発関連団体(3団体)、「地域中小企業の人材確保・安着支援事業」事業者並びに国・県の労働行政組織から構成され、学校・家庭・産業界等が連携して幼・小・中・高・特別支援学校におけるキャリア教育推進に向けての協議等を行う。</p> <p>地域の推進体制(図などを用いて地域全体の体制が分かるように示すこと)</p>	

	団体名	役割	
協議会の構成	徳島県商工会議所連合会	経済団体・企業側の立場から、企業等への「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場体験・就業体験(インターンシップ)」の円滑な実施に向けての手引書作成、「キャリア教育パイロット校」による実践について助言を行った。	
	徳島県商工会連合会		
	徳島県中小企業団体中央会		
	一般社団法人徳島経済同友会		
	徳島県経営者協会		
	徳島県信用保証協会		
	徳島県中小企業家同友会		
	一般社団法人徳島ニュービジネス協議会		
	公益財団法人とくしま産業振興機構	職能団体の立場から、職能団体への「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場体験・就業体験(インターンシップ)」の円滑な実施に向けての手引書作成円滑な実施、キャリア教育パイロット校の実践について助言を行った。	
	徳島県職業能力開発協会	労働行政関係者の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場体験・就業体験(インターンシップ)」の円滑な実施に向けての手引書作成、キャリア教育パイロット校の実践について助言を行った。	
	徳島県技能士会連合会		
	徳島県商工労働部産業人材育成センター		
	徳島労働局職業安定部	市町村教育委員会の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」の円滑な実施、キャリア教育パイロット校の実践について助言を行った。	
	市町村教育委員会教育長会		
	鳴門教育大学		大学側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場体験・就業体験(インターンシップ)」の円滑な実施に向けた手引書作成、キャリア教育パイロット校の実践について専門的知見から指導・助言を行った。
	徳島県国公立幼稚園長会		幼稚園教育の立場から、幼稚園におけるキャリア教育の現状を踏まえて「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における職場見学等の円滑な実施、キャリア教育パイロット校の実践について指導・助言を行った。
	徳島県小学校長会		小学校教育の立場から、小学校におけるキャリア教育の現状を踏まえて「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」やキャリア教育支援における職場見学等の円滑な実施、キャリア教育パイロット校の実践について指導・助言を行った。
	徳島県中学校長会		中学校教育の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場体験・就業体験(インターンシップ)」の円滑な実施に向けた手引書作成、キャリア教育パイロット校の実践について指導・助言を行った。
	徳島県高等学校長会		高等学校教育の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場体験・就業体験(インターンシップ)」の円滑な実施に向けた手引書作成、キャリア教育パイロット校の実践について指導・助言を行った。
	徳島県特別支援学校長会		特別支援教育の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場体験・就業体験(インターンシップ)」の円滑な実施に向けた手引書作成、キャリア教育パイロット校の実践について指導・助言を行った。
徳島県PTA連合会	保護者の立場から、家庭への「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」の円滑な実施、キャリア教育パイロット校の実践について助言を行った。		
徳島市・名東郡小学校・中学校PTA連合会			
徳島県高等学校PTA連合会			

<p>目標</p>	<p>(1)「徳島県キャリア教育推進指針」の内容について経済団体・企業・家庭への周知やキャリア教育パイロット校による実践について協議を行うことにより、学校・家庭・企業等が一体となった系統的・体系的なキャリア教育の支援を図る。 (2)体験的な学習活動の一環である「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」を実施するためのデータベースシステムの学校での活用の促進や、児童生徒の参加数を増やすための方策及び学校・企業間連携を推進し、相互理解を図る。 (3)企業・経済団体等と連携した教育活動支援を促進させることにより、児童生徒の学ぶことや働くことへの理解を深め、望ましい勤労観・職業観の確立を図る。 (4)教職員に対して、経済団体・企業等と連携した研修会や企業見学バスツアーを実施することにより、教職員のキャリア教育に対する意識・指導力の向上を図る。</p>
<p>方針</p>	<p>(1)経済団体・企業等の会議やPTA研修会等の機会を活用し、「徳島県キャリア教育推進指針」の内容等について広く周知する。 (2)「徳島県キャリア教育推進指針」に基づいて実践するキャリア教育パイロット校を、小学校・中学校・高等学校(普通科・専門学科)において指定し、その実践内容を発信することにより、発達段階に応じた系統的・体系的なキャリア教育の推進方策について理解を深める。 (3)「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」の受入先企業情報を一元化した「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」の活用を学校において促進させるとともに、経済団体等と連携し、受入先企業を開拓する。 (4)県内大学キャリアセンター・経済団体・企業によるキャリア教育支援としての小・中・高・特別支援学校において「講演・出前授業」を実施するとともに、取組の一環として高校においては講師との座談会形式の出前授業を実施し、起業家マインドの育成につなげる。 さらに中学校においては、企業等での製品開発に関連する知識・技術と教科学習とを関連させた「講演・出前授業」を実施し、現在の学習と将来をつなげることにより、学ぶ意欲を喚起させる。 (5)学校・企業間連携を推進するために、経済団体と連携した「キャリア教育推進フォーラム」を開催し、企業が求める人材像についての理解を深める。 (6)教職員のキャリア教育に対する意識・指導力の向上を図るために、経済団体と連携した教職員対象企業見学バスツアーや教職員研修会を推進する。 (7)「職場体験・インターンシップ」を円滑に推進するための手引書を作成し、学校・企業間での相互理解に努める。</p>
<p>事業の自立的かつ発展的な運営体制</p>	<p>本協議会は、県労働雇用課と連携して組織を構成し、協議会の運営においては、県労働雇用課と連携して推進するしており、県教育委員会学校政策課が事務局となる。 また、事業の運営については、県教育委員会が中心となり全体の調整を行い、学校関係者・経済団体・家庭・有識者等と連携し、学校におけるキャリア教育の推進に向けての支援の在り方について協議を行っている。</p>
<p>(2)学校の教育活動に対して行われる、社会人講師の派遣や企業等が作成する一定の教育コンテンツの提供などによる支援の促進</p>	
<p>①支援を提案する支援提供者を開拓すること</p>	
<p>「徳島県キャリア教育推進協議会」に参加する経済団体には県内の幅広い分野の企業が属しており、学校における「講演・出前授業」の講師として、多くの企業からの支援を望むことができる。また、本県は、女性社長の比率ランキング全国1位であり、男女共同参画社会の形成に向けて、女性の活躍を推進するために女性社長からの支援も望むことができる。 今年度においては、学校における「講演・出前授業」の講師として、経済団体から空き校舎を活用して創業した女性社長を紹介いただくとともに、多様な職種・業種からの講師を学校に派遣することができた。 さらに、経済団体等の会合である「総合支援連絡会議」や会員の研修会に参加し、本県のキャリア教育について啓発するとともに、「職場体験・インターンシップ」への児童生徒の受入れや、学校における教育活動への参画について依頼を行い、支援提供者の開拓を行った。</p>	

②支援に関する提案を学校に提示すること。

【学ぶことや働くことへの理解や経済・社会・雇用の仕組み等の理解促進に向けた講演・出前授業】

この支援については、協議会に参加している経済団体等と連携・協議を行い、キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」に沿った次の5つの内容で県内の小・中・高・特別支援学校すべてに「講演・出前授業」の募集を提示し、今年度は県内公立小・中・高等学校50校で「講演・出前授業」を行った。

実施内容(校種別に募集内容を変更)

- (1) 努力することの大切さについて
- (2) 夢を持つこと大切さについて
- (3) 徳島県の産業について
- (4) 仕事における体験談について
- (5) 働くことの意義・大切さ・喜び・厳しさについて
- (6) グローバル社会で働くとは
- (7) 労働法の基礎知識
- (8) 学校での勉強がなぜ必要なのか
- (9) これからの社会で生きていくために必要な力とは
- (10)ものづくりの大切さについて

【教科等に関連したキャリア教育支援における出前授業】

キャリア教育と教科等との関連を深めることを目的に企業等の社会人を講師による企業での業務と教科学習の関連性を図るための出前授業を提示した。本支援では、平成24・25年度に作成された徳島県市町村職員互助会が配付している「サイエンスとくしま(第1版)」、「サイエンスとくしま(第2版)」を活用し、県内企業における業務内容と中学校での「理科」や「技術」の教科学習との関連について理解させるとともに、世界に誇る県内企業についても理解させる取組であり、今年度は、県内企業8社の御協力をいただき、県内公立中学校14校で実施した。

実施内容

- (1)体内のバランスを保つイオン飲料(大塚製薬株式会社)
- (2)未来を照らす白色LED(日亜化学工業株式会社)
- (3)紙を超えた紙”機能紙”(阿波製紙株式会社)
- (4)スマート社会を支えるリチウムイオン電池(パナソニック株式会社徳島工場)
- (5)患者さんとともにたたかう抗がん剤(大鵬薬品工業株式会社)
- (6)紫外線から眼を守るスポーツサングラス(山本光学株式会社徳島工場)
- (7)まさつ(転がり抵抗)を減らす省エネ・創エネの切り札(株式会社ジェイテクト徳島工場)
- (8)シンビジウムを大量生産するメリクロン技術(株式会社河野メリクロン)

【キャリア教育推進フォーラムの開催】

本県では平成27年度から、すべての県内公立学校において「キャリア教育全体計画」が作成され、今後はより実効性のある取組を推進する必要がある。

今年度、「徳島県キャリア教育推進指針」に基づき、キャリア教育を先進的に推進するモデル校を指定し、「キャリア教育パイロット校事業」を展開した。

指定校

鳴門市撫養小学校

美馬市立江原中学校

徳島県立阿波高等学校

徳島県立つるぎ高等学校

さらに、本事業での取組を県内に発信する取組として、「キャリア教育推進フォーラム」を平成28年1月7日に開催した。本フォーラムには県内公立小・中・高等学校におけるキャリア教育担当教員302名が参加した。

本フォーラムでは、「徳島県キャリア教育推進協議会」の委員である徳島銀行代表取締役会長である柿内慎市氏から「企業が求める人材像」として講演をいただくとともに、モデル校による実践発表を行い、系統的・体系的なキャリア教育の推進に向けて実践例を提示した。

③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。

学校におけるキャリア教育を支援するための「講演・出前授業」の内容については、「徳島県キャリア教育推進協議会」において検討された内容を、県内小・中・高・特別支援学校に広く提案し、講師選定においても学校のニーズに応じて経済団体・企業等と協議を行い、マッチングを図った。

社会人・職業人による「講演・出前授業」については、児童生徒が「講演・出前授業」の内容を難しく感じていることが課題として示されていたことから、平成26年度に作成した「職業人・社会人による講演・出前授業」の手引を活用し、学校と講師との十分な打ち合わせ等を推進し、第3回の「徳島県キャリア教育推進協議会」における委員からの意見として、学校における対応等が改善されたとの報告もなされた。

(3)学校の教育活動として校外で実施される職場見学、職場体験活動及びインターンシップ等に対する支援の促進

①インターンシップ等の実施場所として児童生徒の受入れを提案する支援提供者を開拓すること。

「徳島県キャリア教育推進協議会」には、県内経済団体5団体に参加いただいております。これらの経済団体に会員として県内の幅広い分野の企業が参加していることから、本協議会に参加している経済団体等を通じて、支援提供者として、多くの企業からの支援をいただくことが期待される。

今年度は、経済団体等の会合である「総合支援連絡会議」や会員の研修会に参加し、「職場体験・インターンシップ」への児童生徒の受入れや、事務局が運営している「職場体験・インターンシップ受入先企業」の情報を一元化した「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」への登録を依頼するとともに、県商工政策課と連携し、「職場体験・インターンシップ」啓発リーフレットを企業等に配付し、支援企業の開拓を行った。

<p>②インターンシップ等に関する支援提供者の提案を学校に提示すること。</p> <p>平成26年4月から、「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」等の受入先企業等の情報を学校が直接閲覧できるデータベースシステムを運用しているが、登録企業情報を更新し、最新の情報を学校に提示している。</p> <p>平成26年度に、「職場体験・インターンシップ」等の実施のメリットを示したリーフレットを作成し、今年度は学校に啓発を図るとともに、「キャリア教育パイロット事業」の中で、インターンシップ等を推進しており、実践発表を通して、インターンシップ等の在り方や推進方策について、学校に広く提示することができた。</p>																					
<p>③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。</p> <p>「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」等の実施に関しては、「徳島県キャリア教育推進協議会」においては、学校と企業が目標を共有できていないのではないかと指摘がある。学校においても、「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」における評価について要望する意見も多くあることから、今年度は、協議会の委員の意見を反映した「職場体験・就業体験(インターンシップ)」を円滑に実施するための手引を【学校版】・【企業版】に分けて作成し、次年度に向けて、学校と企業との相互理解を図る予定である。</p>																					
<p>(4)その他の取組</p> <p>・LINEの活用 高校生に対して、キャリア教育の充実や進路選択の機会の拡充を図るため、様々な情報をスマートフォンを通じて平成25年5月から直接提供している。 今年度においては、啓発ポスターを広報するとともに、配信内容の充実を図り、登録者数も平成28年2月末で3,200件を超えることができた。</p>																					
<p>4. 実施内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施時期</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>「徳島県キャリア教育推進協議会」設置</td> </tr> <tr> <td>6月～3月</td> <td>キャリア教育推進パイロット校の指定</td> </tr> <tr> <td>9月4日</td> <td>「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第1回)</td> </tr> <tr> <td>10月～2月</td> <td>経済団体・企業等による「講演・出前授業」の実施</td> </tr> <tr> <td>11月～2月</td> <td>企業による「教科等に関連した出前授業」の実施</td> </tr> <tr> <td>12月4日</td> <td>「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第2回)</td> </tr> <tr> <td>12月11日</td> <td>高等学校教員対象企業見学バスツアー</td> </tr> <tr> <td>1月7日</td> <td>「キャリア教育推進フォーラム」の開催</td> </tr> <tr> <td>2月5日</td> <td>「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第3回)</td> </tr> </tbody> </table>		実施時期	実施内容	4月	「徳島県キャリア教育推進協議会」設置	6月～3月	キャリア教育推進パイロット校の指定	9月4日	「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第1回)	10月～2月	経済団体・企業等による「講演・出前授業」の実施	11月～2月	企業による「教科等に関連した出前授業」の実施	12月4日	「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第2回)	12月11日	高等学校教員対象企業見学バスツアー	1月7日	「キャリア教育推進フォーラム」の開催	2月5日	「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第3回)
実施時期	実施内容																				
4月	「徳島県キャリア教育推進協議会」設置																				
6月～3月	キャリア教育推進パイロット校の指定																				
9月4日	「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第1回)																				
10月～2月	経済団体・企業等による「講演・出前授業」の実施																				
11月～2月	企業による「教科等に関連した出前授業」の実施																				
12月4日	「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第2回)																				
12月11日	高等学校教員対象企業見学バスツアー																				
1月7日	「キャリア教育推進フォーラム」の開催																				
2月5日	「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第3回)																				
<p>5. 協議会の成果と課題</p> <p>※計画段階で示していた検証方法等を踏まえ、客観的・具体的に記載すること。 ※成果を踏まえた今後の課題についてもあわせて記載すること。</p> <p>(1)今年度、「徳島県キャリア教育推進協議会」を3回開催し、委員の方々から様々な御意見をいただくことができた。「本県が目指すキャリア教育」について経済団体等の会合や研修会において説明する機会もいただき、啓発につなげることができた。 今後は、さらに保護者等に広く啓発することが課題であり、次年度においては、保護者向けの施策を推進する必要がある。</p> <p>(2)経済団体・企業と連携した「学ぶことや働くことへの理解や経済・社会・雇用の仕組み等の理解促進に向けた講演・出前授業」は昨年度より43%増しの50校、「教科等に関連したキャリア教育支援における出前授業」については、昨年度より17%増しの14校で開催することができ、学校においても職業人・社会人を活用した「講演・出前授業」の重要性が高まっている。</p> <p>(3)キャリア教育パイロット校を指定し、「徳島県キャリア教育推進指針」に基づく研究内容を発信することで、キャリア教育推進の効果や組織的にキャリア教育を推進するための理論と実践を示すことができた。</p> <p>(4)小・中・高等学校のキャリア教育担当教員が一同に会した「キャリア教育推進フォーラム」を開催し、県内経済団体トップによる「企業が求める人材像」について、講演していただくことにより、学校と企業が連携して児童生徒を育成するための相互理解が深まった。 参加教員からは、企業等の話を聞く機会がないので、経営者からの話は新鮮であり、学校教育において人としての土台を作る必要性を改めて感じたなどという建設的な意見が多く聞かれた。</p> <p>(5)経済団体と連携した教員対象企業見学バスツアーや教職員研修会を実施することにより、企業活動への理解を深め、実感を持って児童生徒に指導することにつながった。 バスツアーについては、アンケート調査からは、満足度が95%であり、今後は多様な業種や職種をはじめ地方創生を牽引する企業の見学も必要である。</p> <p>(6)「徳島県キャリア教育推進協議会」では、今年度「職場体験・インターンシップ」実施の手引を作成した。次年度に向けて学校、企業に啓発を行い、参加児童生徒を増やすことが課題である。</p>																					